

国際平和拠点ひろしま構想推進計画（案）に係る県民意見（パブリックコメント）とその対応について

1 意見の件数

1件（1名）

提出方法：電子メール1人

2 県民意見（パブリックコメント）の内容と対応について

区分	意見の概要	県の考え方	該当頁
<p>2 これまでの取組と核兵器のない平和な国際社会の実現に向けて</p>	<p>令和3年7月の国際オリンピック委員会会長による被爆地訪問をやたらと称賛しているが、当時は新型コロナウイルス感染拡大による蔓延防止処置による、湯崎広島県知事から県民に対する不要不急の県外の移動自粛が要請されていた。にも関わらずIOC会長を広島へ歓迎した湯崎広島県知事の行動は矛盾しているとみなせる。</p> <p>更に、同時期に国内の有名人が広島に訪問してきているが、そちらに対しては一切の歓迎のコメントを頂いていないことから、湯崎広島県知事は地元民や日本国民を軽視しているとも思われる。</p> <p>このような行動を行った湯崎広島県知事の信用は失墜したと認識し、本日その根源がこの「国際平和拠点ひろしま構想推進計画」であると知った。</p> <p>日本国民に核兵器廃絶と平和を推進できない者が、国際的な平和を実現できるわけがない。</p> <p>もっと国内に対して核兵器廃絶と復興・平和構築のための取組を進めるべきだ。国内でさえいまだに不十分であるのに、国際的に取り組むことにカマをかけている暇はない。</p> <p>私は、この計画に一切の理解と同意を示さない。(20代)</p>	<p>・国際オリンピック委員会会長による被爆地訪問については、広島県及び広島市では、数年前（コロナ禍以前）から、来広を要望しており、今回の東京2020オリンピック競技大会の休戦決議期間の開始（7/16）にあわせた日程となりました。</p> <p>・会長には、必要な感染対策を徹底したうえで、平和記念資料館を視察し、被爆者の方と対話するなど、被爆の実相に触れていただいたほか、世界に向けてスピーチをされるなど、訪問の意義は大きかったと考えています。</p> <p>・今後とも、県として、被爆の実相に直接触れることにより、核兵器の非人道性について深く認識していただき、核兵器のない平和な世界の実現に向けて大きな影響力を発揮していただくため、指導的立場にある方々に広島訪問を働き掛け、被爆の実相の伝承と核兵器廃絶の訴えに取り組んでまいります。</p> <p>・国内に向けた取組についても重要であると考えており、国内の多様な団体とのネットワーク化に取り組んでいます。</p> <p>・具体的には、県内外の企業に参加いただく世界平和経済人会議の開催等を通じて、経済界との連携を進めているほか、SDGsを通じた国際平和の実現に向けた取組の一環として、SDGsビジネスの事例集の作成などに取り組んでいます。</p> <p>・復興・平和構築のための取組としては、県内外の自治体等に「広島の復興の歩み」に関するパネルの貸出や小冊子の配布に加え、時間や場所を問わず、被爆の実相や核をめぐる国際動向を学ぶこと</p>	<p>2頁</p>

のできるオンライン平和講座を開講するなど、平和学習資料等の貸出・提供を行っています。

- ・さらに、次世代人材を育成するため、県内外の高校生等を対象に「グローバル未来塾 in ひろしま」や「ひろしまジュニア国際フォーラム」を開講しています。

- ・こうした平和の取組は、国際平和拠点ひろしまのホームページやSNS等により発信しています。

- ・今後も、国内に対する平和の取組がさらに充実するよう取り組んでまいります。